

福島県農林水産部技術職

仕事紹介 BOOK

専門をいかす。福島でいかす。

福島県農林水産部

農業職
の仕事とは？

本県の農業振興、儲かる農業の実現に向けて農業政策の企画立案や事業構築、普及指導（栽培や経営支援、ICT など新技術の普及）、試験研究（新品種・新技術の開発）、農業教育・担い手の育成（後継者育成、就農支援）に加え、病害虫の発生予察、原子力被災地域における営農再開支援などの業務に従事します。



一緒に農業を
支えていきましょう

南会津農林事務所 農業振興普及部 経営支援課 技師



チャレンジ!
そのアイデアが未来をつくる。

農業総合センター 果樹研究所 主任研究員

Q1 どんな仕事をしていますか？

南会津地域の花の生産者に対して、JA と協力して栽培技術に関する指導会を行ったり、個々の生産者を巡回し栽培状況の確認や今後の栽培方針の相談対応を行ったりしています。また、地域農業の担い手に対して営農計画の作成支援や指導、新規就農者の確保・育成に関する業務も行っています。

Q2 仕事のやりがいを感じる時は？

直接生産者と接する業務のため、生産者の役に立ったと感じる時にやりがいを感じます。例えばリンドウの病害虫防除に関する技術指導で巡回した生産者の方から、指導後に病害の発生が減って、出荷量が増加したとの声をいただいた時は嬉しかったです。

Q3 南会津の農業(花き)の魅力は？

南会津地域は、主に夏場のリンドウ、カスミソウが栽培されています。夏の涼しさや昼夜の気温差が大きい気候により、リンドウは花弁（花びら）の発色が良く、カスミソウは花が大きくボリュームがあり人気となっています。また、生産者の方がとても優しいことも魅力のひとつです。

Q4 就農者確保のため取り組んでいることは？

地元の高校生を対象に地域の農業を紹介する「フレッシュ農業講座」を開催しています。高校生に生産者のほ場見学や講話を聞いていただき農業の魅力を伝える活動です。また、就農希望者や就農一年目の方々には、農業に関する基本的な知識の習得を目指す研修も開催しています。

ある一日の流れ



8:45 花の生産者さんから農業の問合せ対応



11:00 花の栽培指導会



13:30 新規就農者向け研修会開催



16:00 今回の研修の反省と次回研修の打合せ

Q1 どんな仕事をしていますか？

モモやナシ、リンゴ、ブドウなど、果樹の新品種の開発と栽培技術の確立に向けた研究に取り組んでいます。花粉の交配により得られた種子を育て、「おいしくて、栽培しやすい」品種を育成します。新品種の安定生産に向けた技術確立も重要です。

Q2 仕事のやりがいを感じる時は？

最もやりがいを感じる時は、無事に収穫を迎えた農家の方々の喜ぶ姿を見ることができた時です。将来、農業の担い手となる若い世代が、夢を持って果樹経営にチャレンジできるよう、今後も研究に取り組んでいきたいです。

Q3 福島県の果物の一番の魅力は？

福島県の果物の生産は、6月のアウトウを始めに、7月からはモモ、8月のナシ、ブドウ、9月にはリンゴやカキなど、12月まで様々な果実が収穫期を迎えます。特に8月から10月にかけて、様々な果物を同時に味わうことができるのは、福島県ならではの魅力です。

Q4 スキルアップに必要なことは？

新しい事へのチャレンジ。そのため、情報収集はもちろん、新たなアイデアをもって同僚や上司とディスカッションし、スキルアップするよう心がけています。特に、日常のコミュニケーションから得られる新たな発見、アイデアはとても貴重です。

ある一日の流れ



9:00 調査内容の打合せ



10:00 果実調査のためほ場へ



11:00 果実の収穫作業



15:00 果実の品質調査



16:00 データの解析

農業土木職
の仕事とは？

多様な担い手が持続的に農業に取り組める「ふくしま」の農村の創造を目指し、農業生産性の向上、防災・減災対策の実施及び農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮により農業農村整備を推進していくため、ほ場やかんがい排水施設の整備、被災農地の復旧、農村環境整備に関する工事の設計・監督などの業務に従事します。



福島未来を支える
農村をつくりたいの

相双農林事務所 農村整備部 農村整備第二課 技師



林業職
の仕事とは？

県土面積の約4割を占める民有林において、森林の利活用や林業の振興、担い手の育成、林道・治山事業に関する工事の設計・監督、県民参加による森林づくりの推進、試験研究などの業務を担っています。本県の豊かな森林を守り育て、その恩恵を次の世代に引き継いでいくために私たちは働いています。



福島森林を、心を、
未来を豊かに！

森林林業総室 森林保全課 技師

Q1 どんな仕事をしていますか？

浜通りに位置する相双農林事務所、東日本大震災からの復旧・復興を目的とした農地整備事業に携わっています。早期の営農再開に向け、農地の大区画化、用排水路及び農道の整備など、農業生産基盤を整備する工事の設計、監督業務を行っています。

Q2 仕事のやりがいを感じる時は？

担当している業務が完了した時にやりがいを感じます。より良い農地を整備するため、常に最善を尽くせるよう、地元農家や施工業者と試行錯誤を重ねながら業務に取り組んでいます。整備された立派なほ場を一望した時の達成感は、この仕事でしか味わえない格別なものです。

Q3 福島県職員を選んだ理由は？

県外出身ですが旅行などで福島県を訪れる機会が多く、その中で県民の様々な思いに触れたことがきっかけでした。震災からの復興・再生はもちろん、これからの新しい福島の農業を基盤整備の面から支えたいと思い、農業土木職として福島県職員になる決意をしました。

Q4 農業土木職員としての目標は？

農地の大区画化による大型機械の導入及び用排水路や農道の整備による営農の省力化の実現、農地の汎用化による多様な作物の導入などを図り、生産性の高い農地を整備することが目標です。その結果、本県の農産物が国内だけでなく世界中に届くことを願っています。

Q1 どんな仕事をしていますか？

私は山地災害の予防・復旧を目的とした治山ダムや海岸防災林の整備などの治山事業を担当しています。県内の治山事業を円滑に進めるため、国（林野庁）との連絡調整や、事業に必要な予算の配分、治山台帳管理のほか、現場での出先機関との打合せなどの仕事を行っています。

Q2 仕事のやりがいを感じる時は？

山地災害が発生した現場の工事が完成した瞬間はとても嬉しいです。目に見える形で仕事の成果を残せまし、地元住民の方から「ありがとう」と感謝の言葉をいただいたこともあります。完成するまでの期間に様々な苦労があっても、それを上回るやりがいを感じます。

Q3 林業職員を目指したきっかけは？

思い返すと、最初のきっかけは高校生の頃になります。地球の環境問題に興味があったのですが、「地球環境にとって森林が重要なのでは？」という思いから、大学では森林科学や生態学を専攻しました。大学で、森林が持っている多くの機能を発揮するためには林業という仕事が大きな役割を担っていることを学び、将来は森林・林業に携わる仕事がしたい！と想っていたところ、福島県職員に林業職という区分があることを知りました。地元である福島県で働きたいという気持ちもあったことから、林業職員として働くことを決めました。

福島県林業職ジョブナビ



福島県の
林業職について
もっと知りたい方は
こちら！

農業土木

わたしの仕事の様子



課内の打合せ



橋梁の施工状況確認



排水路の寸法測定

福島県の
農業土木職について
もっと知りたい方は
こちら！



わたしの仕事の様子



次年度の治山事業計画箇所の現地調査。山地災害が発生した時はすぐに現地調査を行い、早期復旧に向けて計画を立てます



治山事業の調整会議。他部局や民間企業など、様々な人と関わる仕事です



復旧工事が完成した現場

林業

畜産職の仕事とは？

本県の畜産を振興するため、専門知識と技術を生かし、畜産振興のための施策や補助事業の推進、農家の経営指導や担い手の育成、家畜の生産・改良に係る試験研究などの業務に従事します。業務内容によって、本庁の畜産課や出先機関の農林事務所、農業総合センター畜産研究所などに勤務します。



農業総合センター 畜産研究所 肉畜科 研究員



「福島牛」成分分析試験

牛枝肉中オレイン酸光学測定

Q1 どんな仕事をしていますか？

私は、農業総合センター畜産研究所肉畜科で肉用牛の改良に関する研究を担当しています。産肉能力の高い種雄牛を作出するため優良子牛の選抜調査や、牛肉に含まれるオレイン酸や遊離アミノ酸などの分析を行い、「福島牛」のおいしさの要因をつぎとめるための研究をしています。

Q2 仕事のやりがいを感じる時は？

県の子牛セリ市場や人工授精師講習会などで、県有種雄牛のPRを行っています。農家から、県の種雄牛を人工授精して「大きい子牛が生まれた!」、「生まれた子牛が高値で売れた!」と言われた時に農家の経営の支えになれたと実感し、とてもやりがいを感じます。

Q3 受験者へメッセージをお願いします。

畜産職の仕事は多岐にわたり、イメージがしにくいかもしれませんが、ひとつひとつの業務は、農家の経営安定や畜産業の復興・発展に繋がっています。今後、福島県の畜産をさらに盛り上げていくために、皆さんとともに働ける日を心待ちにしています。

水産職の仕事とは？

水産業の復興や漁業者などの経営安定に必要な支援の施策立案や実施、水産業に寄与する試験研究などに従事しています。県庁（福島市）や相馬市、いわき市、猪苗代町など県内各地に水産関係の職場があります。私たちは、それぞれの配属先で、福島県の水産業の復興と発展のために日々仕事をしています。



水産海洋研究センター 放射能研究部 研究員



データ解析

堆積物研究

Q1 どんな仕事をしていますか？

いわき市小名浜にある福島県水産海洋研究センターで研究員をしています。環境中の放射性物質濃度の時間経過や場所の違いによる変動、水生生物への影響などを解明するため、福島県内の河川や汽水域（松川浦）、沿岸域の土や水の放射性セシウム濃度の測定などを主に行っています。

Q2 仕事のやりがいを感じる時は？

福島県では緊急時環境放射線モニタリングとして、漁業者と協力して漁獲された水産物の放射能検査を行い、県産水産物の安心・安全について発信しています。私も、水産物の基礎情報の記録（体長、体重など）で関わっており、非常にやりがいのある仕事だと感じています。

Q3 県の水産業への思いを教えてください。

福島県の水産業は東日本大震災と福島第一原子力発電所の事故により甚大な被害を受け、根強い風評被害が発生し、震災後10年経過した現在も復興は道半ばとなっています。水産技術職員として、水産業の復興と発展のために働くことは、非常にやりがいのあるものだと感じています。

獣医師の仕事とは？

ワンヘルス（人と動物の健康はひとつ）の考えのもと、高病原性鳥インフルエンザなどの家畜伝染病の発生予防や感染拡大防止、動物用医薬品の適正な流通や使用の監視、各種疾病の検査や診断などの業務を行っています。健康な家畜から安全な畜産物の供給を通して、人の健康を支える緊張感のある仕事です。

Q1 どんな仕事をしていますか？

私は家畜保健衛生所で、高病原性鳥インフルエンザの検査や、防疫対策の指導を主に担当しています。主担当業務以外にも、牛、豚、めん羊、鶏、蜜蜂などの家畜を対象に農家での採材・指導、検査室での精密検査のほか、原因究明のため解剖するなど、仕事の内容は多岐にわたります。

Q2 仕事のやりがいを感じる時は？

家畜の病気で困っている農家の方から相談を受け、検査を実施し、一緒に予防対策を考えて実行に移すなど、苦労もたくさんあります。しかし、家畜が健康になり、その結果、生産性が向上し、農家の方との信頼関係を築くことができたと感じる時には、とてもやりがいを感じます。

Q3 福島県の畜産の発展に必要なことは？

福島県で働き始め3年が経過し感じたことは、復興が進んだとはいえ、未だに風評被害が存在することです。さらなる復興のため、福島県の農畜産物の安全性の情報を正確に発信していくことが重要だと考え、畜産の復興に貢献します。



中央家畜保健衛生所 防疫課 獣医技師



衛生管理指導風景

ニューカッスル病 HI 試験

船舶職の仕事とは？

航海士は船長の指示を受けて船の操縦や運航管理を行います。機関士はエンジンや発電機の操作など機関関係の管理を担います。通信士はおもに無線電話などを使って、陸やほかの船との連絡を行っています。また、安全に航行できるように、24 時間体制で 4 時間ごとに当直を行っています。

Q1 どんな仕事をしていますか？

調査指導船いわき丸の機関士として主機関や発電機の始動、停止といった機関業務を始め、海洋観測では CTD 観測装置を用いて塩分・水温・水圧・水深などを計測する際の機械操作を担当しています。また、底引き網による資源調査では、魚類の選別や魚体の測定も行っています。

Q2 仕事のやりがいを感じる時は？

福島県沖に広がる太平洋を調査して、綺麗な海を見る事ができた時や色々な海況での海水のデータや潮流等の海の状態、魚や泥などの研究データを数多く持ち帰り、福島県の漁業や海洋環境の研究の発展に繋がっていると思った時は、仕事のやりがいを強く感じます。

Q3 水産業復興への思いを教えてください。

福島県の水産業の復興は、様々な方のご努力により目覚ましいものを感じています。私自身も、この仕事を通して、福島県の復興に大きく寄与できることに誇りや感謝を持って、これからも一生懸命に頑張っていきたいと思っています。



水産海洋研究センター 調査指導船いわき丸 技師兼二等機関士



日頃から整備は欠かせない

堆積物のサンプル採取

福島県農林水産部各機関紹介

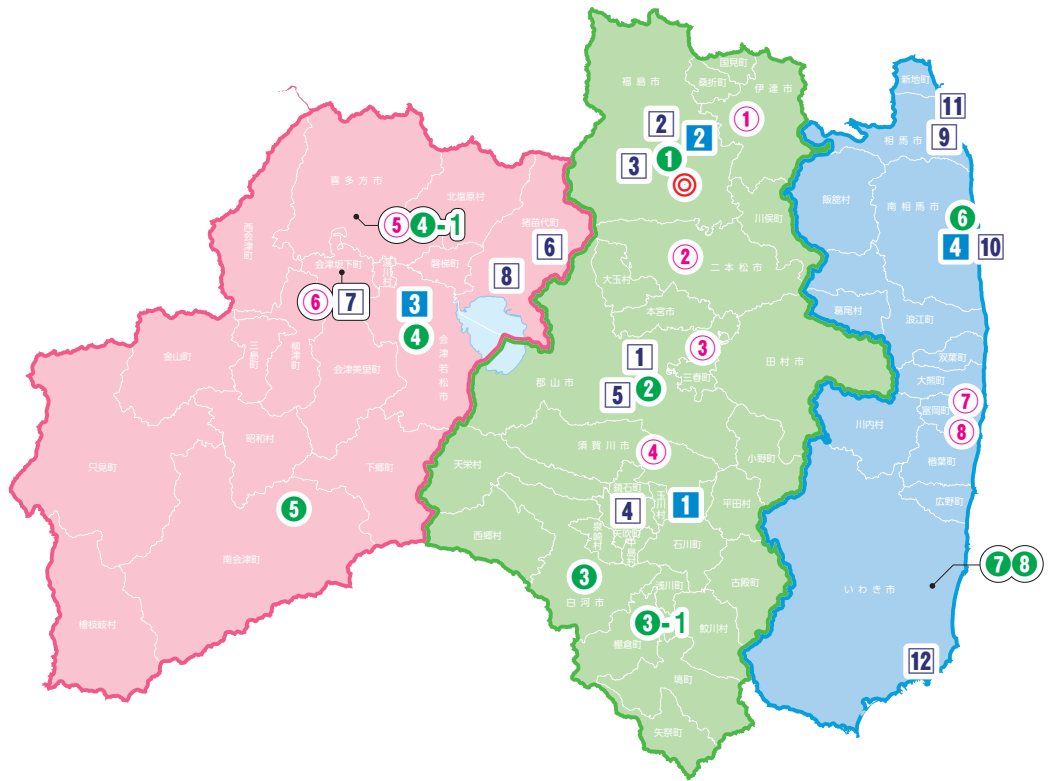
1 本庁機関 ◎ (農林総務課／農林企画課／農林技術課／農業振興課／農業担い手課／環境保全農業課／農業経済課／農産物流通課／水田畑作課／園芸課／畜産課／水産課／農村計画課／農村振興課／農村基盤整備課／農地管理課／森林計画課／森林整備課／林業振興課／森林保全課 全20課)

2 出先機関

	会津	中通り	浜通り
農林事務所 水産事務所 等	<ul style="list-style-type: none"> ④ 会津農林事務所 ⑤ 喜多方農業普及所 ⑥ 会津坂下農業普及所 ④-1 会津農林事務所森林林業部 ⑤ 南会津農林事務所 	<ul style="list-style-type: none"> ① 県北農林事務所 ① 伊達農業普及所 ② 安達農業普及所 ② 県中農林事務所 ③ 田村農業普及所 ④ 須賀川農業普及所 ③ 県南農林事務所 ③-1 県南農林事務所森林林業部 	<ul style="list-style-type: none"> ⑥ 相双農林事務所 ⑦ 双葉農業普及所 ⑧ 富岡林業指導所 ⑦ いわき農林事務所 ⑧ 水産事務所
家畜保健衛生所	<ul style="list-style-type: none"> ③ 会津家畜保健衛生所 	<ul style="list-style-type: none"> ① 中央家畜保健衛生所 ② 県北家畜保健衛生所 	<ul style="list-style-type: none"> ④ 相双家畜保健衛生所
試験・研究機関	<ul style="list-style-type: none"> ⑥ 畜産研究所沼尻分場 ⑦ 会津地域研究所 ⑧ 内水面水産試験場 	<ul style="list-style-type: none"> ① 農業総合センター ② 果樹研究所 ③ 畜産研究所 ④ 農業短期大学校 ⑤ 林業研究センター 	<ul style="list-style-type: none"> ⑨ 浜地域研究所 ⑩ 浜地域農業再生研究センター ⑪ 水産資源研究所 ⑫ 水産海洋研究センター

配置図

- ▶ 農林事務所…7
水産事務所…1
- ▶ 農業普及所…7
林業指導所…1
- ▶ 家畜保健衛生所…4
- ▶ 試験研究機関
・農業系…7 (うち畜産系2)
・林業系…1
・水産系…3
・教育機関…1



配属先について

- 新採用者は、本人の希望も考慮しながら、本庁又は出先機関に配属されます。
- その後は、本人の希望、能力・適性なども踏まえながら、概ね2～5年のサイクルで異動が行われます。
- 異動にあたっては、引越越し費用に相当する赴任旅費、通勤手当、住居手当等の諸手当が条件に応じて支給されます。

昇任について

最初は技師等として採用され、その後は勤務成績に基づき、上位の職に昇任していきます。



福島県農林水産部農林総務課

〒960-8670 福島県福島市杉妻町2-16
 TEL 024-521-7391 (総務担当)
 FAX 024-521-7945
<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36005a/saiyou.html>

各種説明会・インターン情報等

福島県では、採用に向けた各種説明会（オンライン含む）やインターンの受け入れ、個別面談などを行っております。最新の情報については、右記の県HPをご確認ください。

